

IMPACT HERO 2023

オユンゲレル・ ツェデブダンバ

Oyungerel Tseveddamba

支援報告書

2025年4月15日発行

EARTH COMPANY



IMPACT HERO 2023

オウンゲレル・ツェデブダンバ

Local Solutions 創設者

旧社会主義体制下のモンゴル北部の小さな町で育ったオウンゲレル(オユナ)は、社会の大きな転換期を生き抜いてきた。モスクワの大学で計画経済を学ぶも、その後、モンゴルの民主化と市民参加を広げる活動に身を投じ、人権や公共参加に関する政策づくりにも携わってきた。2012年には国会議員に当選し、2012年から2014年まで文化・スポーツ・観光大臣、2016年まで国会議員を務めるなど、政治と市民社会の両面から、モンゴルの持続的な発展に取り組んできた。

モンゴルでは、水・衛生環境がいまなお深刻な課題で、「安全に管理されたトイレ」の普及率は58%*にとどまる。水道施設のない農村部や、都市部のゲル(移動式住居)居住区では、屋外の竪穴式簡易トイレが広く使われており、子どもの落下事故や、不衛生な環境による健康被害が後を絶たない。トイレに行くことを避けて水分摂取を控え、脱水症状に陥ったり、感染症にかかったりする人も少なくない。

こうした状況を変えるため、オユナは2017年に、トイレに対する意識と行動の変革を促すキャンペーン「Let's Change Our Toilets(トイレを変えよう)」を開始。水道施設のない居住区や地方において、トイレの普及を通じた衛生・環境改善を目指し、安心・安全で環境に配慮したトイレの導入、コミュニティへの研修・啓発、ビジネスセクターとの連携促進に取り組んでいる。

*出典：[UNICEF](#)



MESSAGE from Earth Company



私たちが最初にオユナを知ったとき、率直に言えば、「この人に本当に支援が必要なのだろうか」と話し合ったことを覚えています。大臣まで務めた政治家であり、モンゴル社会で高い知名度を持つ彼女は、すでに自らの力で道を切り拓いている人のように見えたからです。

しかし、バリ島のヒーローズ・キャンプで実際に対面したとき、その印象は大きく変わりました。高い実績を持ちながらも、オユナは驚くほど謙虚で、学ぶことに対してとても貪欲でした。その姿に触れるなかで、私たちは、活動家として卓越した資質と変革力を持つ彼女が、新しいソーシャルビジネスを牽引するという挑戦に向き合ううえで、確かに支えを必要としていることに気づきました。そして、オユナが持つ大きなビジョンにEarth Companyの伴走が重なることで、その実現を後押しできる。そう感じられたことが、彼女をインパクトヒーローとして選ぶ決め手となりました。

けれども、その後の歩みは決して平坦ではありませんでした。支援2年目には、選挙への挑戦によって丸1年間の支援中断が生じ、その影響もあって、オユナは活動継続のための資金確保や組織運営上厳しい局面を迎えました。3年目は、そうした苦しい状況の一つひとつ乗り越えるところからの再出発でした。

私たちにとっても簡単な挑戦ではありませんでした。モンゴルは日本にとって決して遠い国ではありませんが、その厳しい暮らしや衛生課題は十分に知られていません。長く厳しい冬と、上下水道が整わない地域の存在は、トイレの問題を単なる不便ではなく、健康や尊厳に関わる切実な課題にしています。こうした現実を日本の支援者の皆さまに伝え、共感を広げながら資金を集めることは決して容易ではありませんでした。

それでも、オユナたちの悲願であった「トイレ教育センター」の開設を、厳しい冬が始まる前に実現できたのは、オユナと事業パートナーのダギーの「モンゴルを支援しようとしてくれる日本人たちに、この現実と可能性を伝えたい」という強い想いがあったからだと感じています。そして彼女たちの強いコミットメントの下、共に率直で開かれた対話を繰り返し、意見を交わしながら一歩ずつプロジェクトを形にしていくことができたこと、その過程でこれだけ共感と支援の輪が広がったことを、感慨深く受け止めています。

モンゴル初の「トイレ教育センター」は、人々が実際に見て、学び、体験しながら、衛生や環境に対する意識と行動を変えていくための拠点です。そして何より、モンゴルの人々のトイレに対する認識に確かな変化をもたらし、暮らしを変える第一歩になったと胸を張って言えるプロジェクトとなりました。私たち自身、この「モンゴルのトイレ革命」、そして人々の暮らしに変化を生み出す挑戦を、オユナたちとともに形にする一端を担えたことを、心から嬉しく思っています。

IMPACT HERO 2023 - OUR 3 YEARS JOURNEY TOGETHER



IMPACT HEROに選出

2023期生9人の中から選出！

助成金の提供

衛生教育とドライトイレの活用を普及するための本の製作・印刷費と、普及啓発活動費として**470万円**を助成

クラウドファンディング

モンゴル初トイレ教育センターの建設費として、215人の方から**908万円**の寄付を賜り、夢の施設が現実になりました！

来日ツアー

支援者訪問、Earth Company主催のイベントへの登壇などを行い、メディアにも取り上げられました。

2023.6

2023.7

2024.1-10

選挙への出馬により
支援中断

2024.12

2025.2

2025.6

2025.7

2025.10

2025.11

キックオフ・ミーティング

寄付・助成金への依存から脱却し、ドライトイレ販売と教育活動の拠点づくりのための支援プランを策定

バリでの戦略会議

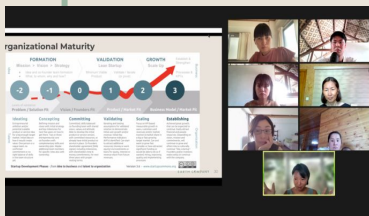
2030年までに6000基のドライトイレを普及するための中期計画を作成

モンゴル訪問

支援チームによる視察から、現地の衛生・環境問題の深刻さを発信

トイレ教育センター開業！

開業前から地域住民の大きな関心を集め、既に1000人以上が来訪



Earth Companyが行った支援

Key Numbers

3年間を通じて
支援した金額

1478 万円

3年間で普及した
ドライトイレの数

261 基

トイレ教育センターの
初年度の訪問者数

1000 人以上

支援内容

💰 ファンドレイジング



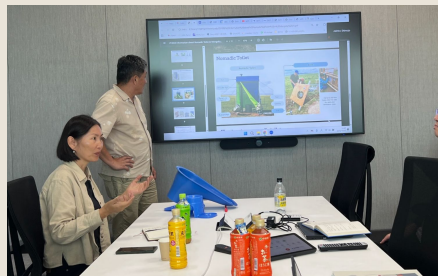
クラウドファンディングでトイレ教育センターの建設費を支援。また助成金を提供し、衛生教育に関する本の印刷費と普及活動費を支援。

🌐 経営コンサルティング



トイレの販売計画、財務シュミレーションを行い、トイレ革命の実現に向けた中長期計画を策定。

🌐 事業連携先の開拓



農村部の移動式トイレの開発のために、日系住宅設備メーカーやアルミニウム販売会社との協働を仲介

👏 マーケティング支援



日本での認知拡大のために新聞やラジオの取材を受け複数の媒体で活動を広報



クラウドファンディング

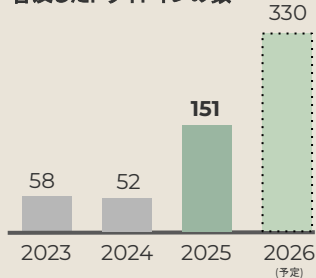
モンゴルの衛生危機を解決する安全で清潔なトイレを届けたい！

215人から908万円のご支援で

モンゴルの衛生問題を解決する拠点「トイレ教育センター」を建設！

2025年11月に、首都ウランバートル郊外「ゲル地区」にオープン！衛生に関する啓発・教育機能とドライトイレの販売拠点を兼ね備えています。モンゴルの「トイレ革命」を牽引する拠点として、2030年までに6000基の安全で衛生的なトイレの普及を目指します！

普及したドライトイレの数



トイレ教育センターへの訪問者数 (初年度)	1000人+
トイレへの問い合わせ数	4167件
ドライトイレ普及数 (累計)	1000基



助成金

トイレ改善を広げるための教育・出版・研修プロジェクト

Earth Lovers (継続寄付者) の皆さまのご支援で

3冊のトイレのガイドブックを制作・印刷し、利用者や事業者へ配布！

ドライトイレ由来の廃棄物を家庭菜園の土壌改良に生かす「グリーンヤード」プロジェクトのハンドブック3,000部の制作を支援。あわせて他2冊のハンドブックも制作し、550人に研修を届けた。

実現できたこと

- 一般向け教材 (トイレ改善・土壌改良・バイオ廃棄物管理): 3,000部を作成
- トイレ販売事業者向けハンドブック: 500部を作成
- 遊牧民用トイレのマニュアル: 100部を作成
- 遊牧民500名および販売事業者50名を対象に研修を実施

2024年は、オユナの選挙出馬に伴い寄付の受け取りが制限されたため、資金繰りが難しくなりました。その中で、本助成金は年間活動予算の約75%をカバーする重要な資金として、彼女たちの活動継続を支えました。



支援者との交流を通じ、感謝と共感の輪を拡大

日本滞在中は、企業や財団などを訪問して新たな連携の可能性を探るとともに、メディアやイベントを通じてオユナの取り組みを発信し、関心と共感の輪を広げました。また、オユナの活動を支援してくださった方々に直接感謝をお伝えする機会ともなりました。

来日中にお会いした方

60+人

面談・支援者訪問

10件

メディア対応

2件

[🔗【ご報告】IMPACT HERO 2023 オユナが来日しました！](#)

[🔗【イベントレポート】Re:Earth 2025～リジェネラティブの種を育む一日～](#)

ドライトイレの改良に向けた日系企業との連携開拓！

東京では、トイレ製品の開発において連携の可能性のある企業を訪問しました。帰国後は、提供された試作品について、モンゴルの冬季環境への適応性や費用対効果の検証を進めています。2026年夏の販売開始を見据え、実用化に向けた協議を継続しています。

【訪問した企業】

- ・株式会社 LIXIL
- ・一般財団法人 UACJからやか財団(アルミニウムを製造するUACJの財団)

3年間の支援で生まれたインパクトとその先の未来

ビジョン

すべての人が安心安全、衛生的で環境負荷をかけないトイレにアクセスできるモンゴルへ

【住民の行動変容】

想定を上回る多くの地域住民が、施設訪問や問い合わせ、トイレの購入を通じて、衛生問題の解決に自ら取り組み始めている

【マルチセクターでドライトイレを推進】

行政による施設視察やトイレ販売事業者の参入が進み、セクターを横断した推進体制の構築が進んでいる

財源の安定化による持続的運営

2026年はトイレの販売の利益により団体の運営費の30%を、3年後には70%をカバーできる見込み

インパクト

トイレ革命の拠点となる「トイレ教育センター」の開設

訪問者数:1000人以上
問い合わせ件数:4167件

トイレ教育センターの建設費支援

トイレ普及のための中長期戦略の策定

普及啓発のための教材作成・活動費支援

ノマドトイレの製品改良に向けた連携先の開拓

支援の成果

支援内容

課題

- ・3人に2人が、安全で衛生的なトイレにアクセスできていない
- ・土壌汚染に起因する感染症は、5歳未満の子どもの主要な死因に
- ・「トイレはタブー」とされ衛生問題が広く議論されにくい社会通念がある

MESSAGE FROM オユナ



この3年間にわたるEarth Companyからの支援は、私たちにとって正に「救い」でした。活動継続すら危ぶまれる困難な状況下、日本の皆様の支えがあったからこそ、私たちは再び立ち上がり、前進することができました。

上下水道が整備されていない首都のゲル地区に「トイレ教育センター」を設立し、開設後わずか数ヶ月の間に、0,000人以上の来訪と4,000件を超える相談実績を上げたことは、大きな一歩です。しかしそれ以上に、この場所が住民にとって「実際に試し、学べる場」へと成長している点に、私たちは大きな可能性を感じています。

今後は、ウランバートルが抱える環境課題へ包括的に取り組むため、トイレに留まらず、環境負荷の低い暖房器具やソーラーパネル等も導入し、エコなライフスタイルを総合的に提案する施設へと発展させる計画です。開設から間もないながら、住民のみならず政策関係者も視察に訪れており、対話を通じた課題解決の場となりつつあります。

こうした挑戦が可能となったのは、Earth Companyの支援が既存の枠組みに縛られず、「真に必要な支援を届ける」という姿勢で私たちを信頼してくださったからです。他では成し得なかった、自らのビジョンを具現化する機会をいただいたことに深く感謝いたします。

この3年間で築いた基盤と信頼を糧に、今後もより多くの人々が希望を持てる社会を目指します。モンゴルの未来を変えるための挑戦を、これからも続けてまいります。

これからの挑戦

「国内に残る60万基の竪穴式トイレを、安全で衛生的なものに置き換える」トイレが長らくタブー視されてきたモンゴルで、オユナはこの大きな挑戦に取り組んでいます。

活動開始から8年間で、SNSを通じて延べ1,000万回以上にわたり情報を広げ、これまでに1,000世帯のトイレ改善を実現してきました。さらに2025年には、その取り組みが評価され、国内大手銀行との連携によるドライトイレ購入向けの低利子ローン制度もスタート。より多くの人々が、安全で衛生的なトイレを手に行ける環境が少しずつ整い始めています。

次に目指すのは、首都ウランバートルに残る4万5,000基の竪穴式トイレの内、まず6,000基を置き換えることです。これは全体の約%にあたります。一見すると小さな数字に見えるかもしれませんが、社会の常識や行動が変わり始めるには、まず「見える変化」が生まれることが重要です。6,000基という節目を超えることで、ドライトイレが特別な選択肢ではなく、現実的で望ましい選択肢として社会に広がっていく可能性があります。

この変化が広がれば、民間企業の参入も進み、「安全で清潔なトイレ」が当たり前になる社会に近づいていきます。そのためには、製品を広げるだけでなく、政府や行政とも連携しながら、制度づくりと現場での意識変化の両面から社会を動かしていく必要があります。

モンゴルのトイレ革命は、いま確かな前進を見せています。しかし、本当の意味で社会を変えるためには、ここからの後押しが欠かせません。


オユナとLocal Solutionsの挑戦が、より大きなうねりとなって広がっていくよう、引き続きあたたかなご支援をよろしくお願いいたします。

How to support Oyuna

今後の支援方法

① オユナの活動を SNS でフォローする(英語)

 <https://www.facebook.com/oyungerel.tsedevdamba>

 [oyungerel_tsedevdamba](https://www.instagram.com/oyungerel_tsedevdamba)

② Local Solutions へ寄付する(英語)

オユナの活動への単発でのご寄付は
QRコードまたは下記リンクへ



<https://hesperian.org/local-solutions-in-mongolia/>

③ オユナへの問い合わせ

協働のご提案、メディア取材の依頼などは
下記 Local Solutions ホームページへ

<https://www.iorlon.net/>

IMPACT HERO 2023
オユンゲレル・ツェデブダンバ

支援報告書

一般社団法人 Earth Company
2026年4月発行

EARTH COMPANY

We do not inherit the earth from our ancestors.
We borrow it from our children.

